

【重点分野-3】連合「なんでも労働相談ホットライン」(☎0120-154-052)
2020年3月 相談集計報告

○全体の特徴

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う労働相談の増加により、全体で1,656件の相談が寄せられ、昨年の1,115件より541件増、非正規で働く方からの相談が約6割を占めた。
- 業種別については、「サービス業(他に分類されないもの)」(194件・19.7%)が最も多かった。
- 相談内容別では、「解雇・退職強要・契約打ち」(193件・11.7%)が先月まで13ヶ月連続で最も多かった「パワハラ・嫌がらせ」を上回り一番多かった。
- 具体的な相談では、「自身の吃音で、同僚から嫌がらせを受け、上司に相談したところ、辞めるか続けるか考えてくるように、と言われた。なぜ自身が辞めなければならないのか納得いかない」と、いった相談が寄せられた。そして、新型コロナウイルスの関係で子供が休校になったため、休業を申し出たところ、会社は特例休業補償はしない、通常欠勤扱いとする、と言われ、こういった現状について、企業が適切に制度を利用し、労働者が守られるよう、連合として声をまとめて届けてほしい、といった、連合に対する要望も寄せられた。

		2020年			2019年		
集計対象期間		3月1日～3月31日			3月1日～3月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,656			1,115		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	794	47.9%	男性	588	52.7%	
	女性	859	51.9%	女性	526	47.2%	
	その他	3	0.2%	その他	1	0.1%	
年代 (不明除く)	10代	10	1.1%	10代	4	0.5%	
	20代	84	9.1%	20代	83	11.1%	
	30代	171	18.6%	30代	145	19.3%	
	40代	234	25.5%	40代	212	28.3%	
	50代	251	27.3%	50代	198	26.4%	
	60代	127	13.8%	60代	92	12.3%	
	70代	42	4.6%	70代	16	2.1%	
雇用形態 (未報告除く)	正社員	680	41.1%	正社員	609	54.6%	
	パートタイマー	308	18.6%	パートタイマー	159	14.3%	
	アルバイト	112	6.8%	アルバイト	57	5.1%	
	契約社員	160	9.7%	契約社員	91	8.2%	
	臨時・非常勤職員	30	1.8%	臨時・非常勤職員	14	1.3%	
	嘱託社員(再雇用含)	24	1.4%	嘱託社員(再雇用含)	17	1.5%	
	派遣社員	115	6.9%	派遣社員	75	6.7%	
その他	227	13.7%	その他	93	8.3%		
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	194	19.7%	医療・福祉	142	19.7%
	2位	医療・福祉	154	15.6%	サービス業(他に分類されないもの)	130	18.1%
	3位	製造業	123	12.5%	製造業	128	17.8%
	4位	卸売・小売業	98	9.9%	卸売・小売業	83	11.5%
	5位	運輸業	91	9.2%	運輸業	48	6.7%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	解雇・退職強要・契約打ち	193	11.7%	パワハラ・嫌がらせ	137	12.3%
	2位	パワハラ・嫌がらせ	156	9.4%	解雇・退職強要・契約打ち	121	10.9%
	3位	雇用契約・就業規則	149	9.0%	雇用契約・就業規則	103	9.2%
	4位	休業補償	91	5.5%	年次有給休暇	83	7.4%
	5位	年次有給休暇	89	5.4%	退職手続	65	5.8%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	85	5.9%	新聞・雑誌	42	4.1%	
	ラジオ・テレビ	135	9.4%	ラジオ・テレビ	18	1.8%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	102	7.1%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	86	8.5%	
	ホームページ	830	57.5%	ホームページ	645	63.5%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	15	1.0%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	3	0.3%	
	紹介	120	8.3%	紹介	99	9.7%	
	その他	156	10.8%	その他	123	12.1%	

【参考】2020年3月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 123件